

クラブ紹介

スウィンガーズHの歩み

昭和38年(1963年)札幌市内には、いくつかのフォークダンスクラブがあり、FD人口は150名ぐらい、道内においては400名ぐらいであった。

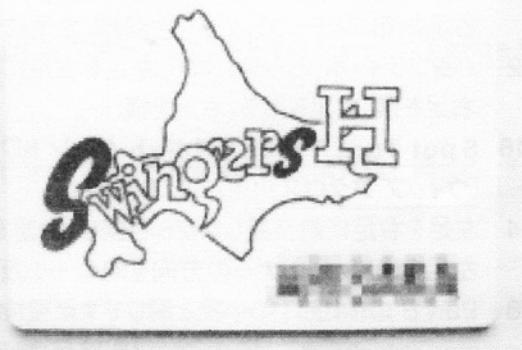
その頃、フォークダンスクラブの中にスクエアダンスへの関心が高まり、昭和38年1月発行「大鳥スクエアダンスの会」編纂による「The Basic Movements of Square Dancing」を入手、一気にスクエアダンスへの関心が膨らんだ。

昭和39年6月8日、大鳥スクエアダンスの会の指導部長佐藤 順氏の来札を機に、その夜急遽スクエアダンスに日頃関心のある人達が大通西18丁目の大谷第2幼稚園に集まり(約40名参加)、佐藤 順氏にBasic Movementの踊りを指導してもらった。この夜、集まったメンバーがスクエアダンス専門クラブ設立を話し合い、翌月7月6日、第1回例会が大谷第2幼稚園を会場にスタートした。

昭和39年(1964年)9月23日、地方からの参加者も交え、約80名参加のもと「スウィンガーズH」創立パーティーが札幌矯正研修所体育館で行われた。このパーティーが道内初の「スクエアダンスパーティー」となるのであった。

当時、スクエアダンスの専門クラブは「東京SD普及会」「大鳥SDの会」「東京SDC」等数クラブのみで、「スウィンガーズH」が北海道初の「SD専門クラブ」になった。

創立に関わった有志には池川 洋、池田正知、齊藤正也、菱 佳春、佐瀬環慈、平井利明、武田姉妹(美奈子・優子)の各氏があり、会員数約50名でスタートし、当時は北大FDC、医大



スウィンガーズHクラブバッジ

FDC等の学生も多かった。他にYMCAからも参加していた。

例会会場として、最初は「大谷第2幼稚園」「北大クラーク会館」「桑園福祉会館」「明星幼稚園」「苗穂会館」そして、現在(2007.10~)は、「リンクエージ ブラザ」(北1条西9丁目)を利用している。

創立以来、「創立記念パーティー」「SDジャンボリー」を開催してきた。昭和40年代の創立記念パーティーは道内コーラーで十分楽しんでおり、ゲストコーラーという考えはなかったがS44年の「SDジャンボリー」で、在日外国人コーラー ボブ・ブイ氏を招へい。以降、S46年の「SDジャンボリー」には岩間直樹氏(仙台SDC)、伊藤達彦氏(カントリースクエアーズ)を招へい、S49年の創立10周年は伊藤達彦氏、S51年の創立12周年は和田 勝氏(東京スクエアダンスクラブ)を、S54年の創立15周年は伊藤達彦氏を、S59年創立20周年は山咲隆司氏(スクエア・ホッパーズ)を、平成元年の創立25周年は小島正文氏(仙台グリーンリーブス)を、H5年の創立29周年は原井耕治氏(広島リトルスクエアーズ)を、H9年の創立



創設当時作成されたクラブ旗

33周年は田中好一氏（藤井寺Kittenスクエアーズ）を、H14年の創立38周年は早瀬典成氏（札幌ウエスタンスターズ）、服部和博氏（北見サンライズサンセットスワインガーズ）を、H21年の創立45周年は金子裕行氏（堺・光明池スクエアダンスクラブ）を招へいしている。

また、創立当時は北海道のSD普及を目的に合宿研修会を毎年開催した。第1回は昭和39年11月21日～23日岩間直樹氏を講師に招き「中の島ユースホステル」で開催。第2回は昭和40年10月31日～11月3日 羊蹄山麓青年の家で開催。第3回は昭和41年11月3日～6日大雪青年の家にて開催。第4回は昭和42年11月3日～5日 中の島ユースホステルにて開催。第5回は、43年11月22日～24日 惠庭青年の家にて開催された。

会長は、初代（昭和39年～43年）池川 洋氏、二代目（昭和44年～45年）桂 頌一氏、三代目（昭和46年～現在）栗村仁史である。

会員数も、昭和の後半から平成の初めまでは20名前後で推移してきたが、H10年（1998年）からの本格的ビギナー講習開始により、現在44名（男14名女30名）となっている。

栗村流の熱い講習により、講習を受けた人はほとんどが会員として残っている。

「栗村流心得」として、栗村さんは以下の5点を挙げている。

- ・鉄は熱いうちに打て（いつでも受け入れる）
- ・とことん面倒を見る（予定はあくまで予定、個人事情を優先）

- ・休憩時間の活用（わかっているので、判っていない。個人授業）
- ・講習は楽しく（必ず皆の前でほめる。おじさんギャグも飛ばす。いつもあなたを見守っていますよ。）
- ・コーラーも進化しなくては（講習は常に工夫が必要。前回のやり方は時には通じない。）

現在は、「リンクエージ プラザ」を会場に、第2、第4土曜日を原則に17時30分～20時45分まで、通常4セットで「ベーシック～プラス」、そしてラウンドダンスと幅広く踊っている。



例会の様子

何かの折に顔を出してもらえば幸である。温かく歓迎します。

当会は、来年の「第31回北海道スクエアダンスジャンボリー」の主管を仰せつかっている。会の歴史に甘んじることなく、初心忘れず準備を進めたい。